

令和元年中の交通事故発生状況

1 交通事故の特徴

- (1) 発生件数、負傷者ともに、平成13年以降19年連続で減少した。
- (2) 死者数は34人であり、前年と比べて20人（37.0%）減少した。
平成以降最少値であり、また、統計を取り始めた昭和20年以降2番目に少ない。

2 死亡事故の特徴（34件34人）

- (1) 事故件数：前年と比較して大幅に減少
事故件数は34件で、前年の53件から19件（35.8%）減少
- (2) 死者の年代別：高齢者の割合が高い
死者34人中、高齢者が24人で約7割（構成率70.6%）
 - ※ 高齢者の状態：歩行中11人（前年比±0人）、四輪運転中3人（前年比-10人）、四輪同乗中4人（前年比-1人）、二輪運転中3人（前年比+3人）、自転車乗車中3人（前年比-2人）、その他0人（前年比-1人）
 - ※ 高齢者の年齢：65～74歳6人（前年比-6人）、75～79歳6人（前年比±0人）、80歳代9人（前年比-8人）、90歳代3人（前年比+3人）
- (3) 事故類型別：「人对車両」の割合が高い
死亡事故34件中、「人对車両」は16件で約半数（構成率47.1%）
 - ※ 「人对車両」16件（前年比+1件）、「車両相互」9件（前年比-8件）、「車両単独」9件（前年比-12件）
- (4) 第1当事者の年齢別：高齢運転者の割合が高い
死亡事故34件中、高齢運転者（原付以上）によるものが15件（構成率44.1%）
[前年は53件中19件(35.8%)]